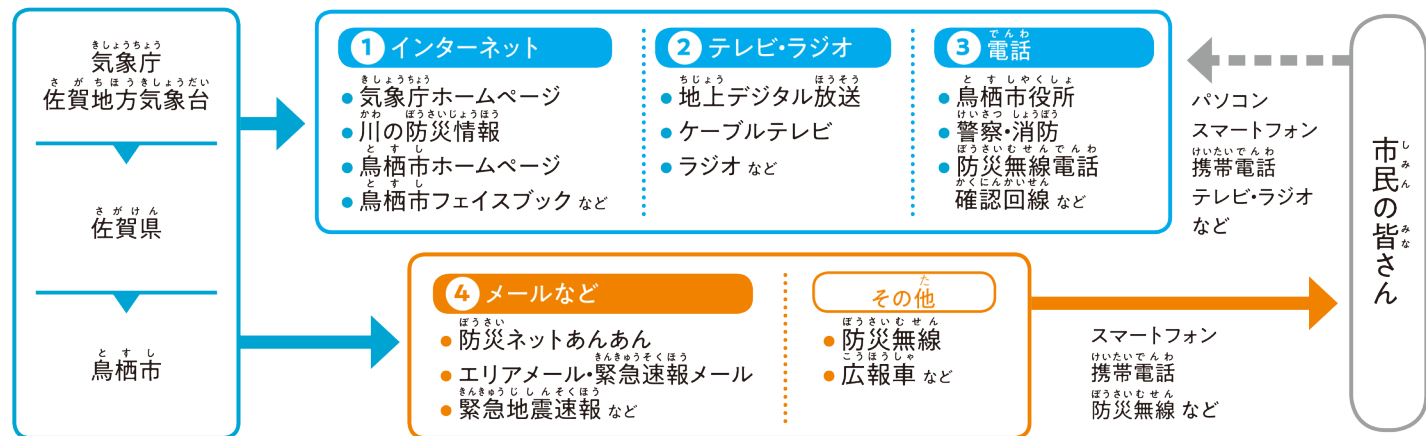


# 避難について

## 情報伝達の経路



## 防災・気象情報の入手先

**1 インターネット**

**気象庁**  
天気予報や危険度の高まりを表す情報などをリアルタイムで配信しています。 <http://www.jma.go.jp/>

- 雨雲の動き(高解像度降水ナウキャスト) …… P.9  
1時間先までのくわしい雨の予測を確認できます。
- 大雨警報(浸水害)の危険度分布  
浸水害発生危険度の高まりを5段階で色分け表示しています。
- 土砂災害警戒判定メッシュ情報 …… P.12  
土砂災害の危険度の高まりを5段階で色分け表示しています。
- 洪水警報の危険度分布 …… P.10  
洪水発生危険度の高まりを5段階で色分け表示しています。



**国土交通省**

- 川の防災情報 …… P.10  
水位観測所や雨量観測所の状況を見ることができます。 <https://www.river.go.jp/>



**2 テレビ**

**地上デジタル放送(データ放送)**  
地上デジタル放送では、リモコンの「d」ボタンを押すことで天気予報や災害に関する情報を確認できる「データ放送」を配信しています。  
NHKや民放各局で配信されており、河川水位や雨量の状況も知ることができます。



**3 電話**

**防災無線電話確認回線** 防災無線からの放送内容が聞き取れなかった場合に、放送内容を電話で確認できます。  
**0942-85-3860** (電話料金は自己負担となります)

**4 メール**

**防災ネットあんあん**  
市民の皆さんの防災対策などに役立てていただくため、あらかじめ登録された携帯電話やパソコンに、避難指示等の発令情報や気象情報などを電子メールで配信しています。登録は無料です。(別途通信料がかかります)  
【登録方法】 URLまたはQRコードから登録ページに移動し、表示されたガイダンスに従って登録してください。 <http://esam.jp>



## 避難情報と住民がとるべき行動

危険の度合い

**警戒レベル3 高齢者等避難**

！ 避難行動要支援者と支援者 → 避難を開始してください。  
避難行動要支援者とは、高齢者、障がいのある方、乳幼児など避難に時間がかかる方をいいます。

！ その他の方 → いつでも避難できるよう準備してください。  
避難の準備を整え「防災気象情報」や「水位情報」などに注意し、危険だと思ったら早めに避難してください。

**警戒レベル4 避難指示**

！ 避難所へ速やかに避難してください。  
避難所への避難が危険な場合は「近くの安全な場所」か「自宅内のより安全な場所」へ避難してください。

**警戒レベル5 緊急安全確保**

！ 命を守る最大限の行動をとってください。  
すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。  
身の安全を確保するため、ただちに安全な場所へ避難してください。

## 避難の考え方

**立退き避難(水平避難)**

- 2階の床面(3m)以上の浸水が予想される場合
- 土砂災害による家屋倒壊などのおそれがある場合

安全な場所まで立退き避難

夜間に大雨が予想される場合は、明るい時間帯での予防的避難を心がけてください。

**屋内安全確保(垂直避難)**

- 2階の床面(3m)未満の浸水が予想される場合
- 屋外への避難ががえって危険な場合

自家内の高い場所へ避難

がけや山から離れた部屋へ避難

## 避難のポイント

**OFF** 避難する前に  
電気のブレーカーを落とし、ガスなどの元栓を閉め、親類や知人などに避難することを連絡しておきましょう。

一人暮らしのお年寄りなどには気配りを  
近所の一人暮らしのお年寄りや病気の方がいる場合は、声をかけ合って一緒に避難しましょう。

災害用伝言板・SNSで連絡する  
電話が通じなくなることを想定し、SNSなどの連絡手段を複数用意しましょう。熊本地震では、SNSは有効でした。

車での避難は控えて  
車での避難は緊急車両の通行の妨げになり、交通渋滞を招きます。特別な場合を除き徒歩で避難しましょう。

速やかに避難しましょう  
避難に関する情報が発表されたら、速やかに避難しましょう。避難の際には警察・消防などの指示に従いましょう。